

二 見 総 合 支 所

○ 地域振興課

1 伊勢市情報公開制度の実施状況

(1) 公文書公開請求の状況

平成 19 年度における公文書公開請求件数は 2 件であった。

なお、実施機関別状況は以下のとおりであった。

実施機関名		件数
二 見 総 合 支 所	地域振興課	1
	福祉健康課	0
	生活環境課	0
	産業建設課	1
	合計（2課）	2

(2) 公文書公開請求の決定状況

区 分	公 開	部分公開	非公開	取下げ	請求却下	計
件 数	0 件	2 件	0 件	0 件	0 件	2 件

(3) 不服申立ての状況

平成 19 年度の不服申立てはなかった。

(4) 情報公開審査会の処理状況

平成 19 年度において審査会への諮問はなかった。

2 伊勢市個人情報保護制度の実施状況

(1) 個人情報開示、訂正、削除及び中止の請求件数及び決定状況

平成 19 年度における個人情報開示請求件数はなかった。

(2) 目的外利用及び外部提供

平成 19 年度における目的外利用の届出及び外部提供の届出はなかった。

(3) 不服申立ての状況

平成 19 年度の不服申立てはなかった。

(4) 個人情報保護審議会の処理状況

平成 19 年度において審議会への諮問はなかった。

3 市有財産の貸付

遊休地の有効利用と地域住民の福祉の増進等を図るため、次のとおり市有財産の貸付を行った。

(1) 市有土地の貸付

ア 有償貸付

物 件			貸 付 先	貸 付 料 (年 額)	用 途	期 間
所 在 地	地 目	地 積				
二見町溝口字川端 207番6のうち	田	m ² 56.3	株式会社 ファミリーマート	円 205,968	駐車場	自 H15.10 至 H20.3.31

イ 無償貸付

物 件			貸 付 先	用 途	期 間
所 在 地	地 目	地 積			
二見町茶屋字茶屋後 104番1外6筆のうち	宅 地	m ² 53.95	三重県警察	派出所	自 S23.12 至 自動継続

4 総合支所庁舎管理

(1) 防火管理

自動火災報知設備、屋内消火栓設備、誘導灯及び誘導標識、消火器具、配線等の保守点検の立会いを行った。

(2) 閉庁時の管理

委託警備業者が常駐し、庁舎内及び庁舎周辺の巡回警備を行うとともに、来庁者の対応及び時間管理、不審者の侵入防止にあたった。

5 車両関係

(1) 車両に対する保険契約状況

市が保有し、二見総合支所で管理する車両の事故時等の負担軽減を図るため、自動車損害共済(示談代行サービス付総合契約)に加入した。

・自動車損害共済

委託台数 27台(2輪車1台を含む)

・共済責任額

車両共済は見積もり時価

対物損害賠償共済は1,000万円まで

対人損害共済は無制限

・事故報告件数 0件

(2) 車両整備

車検整備、法定点検整備、一般修繕については、市内2業者に委託した。

(3) 集中管理車両の使用状況

公用車の効率的運行を図るため、ごみ収集業務、学校、保育園に係るものを除いた車両を集中管理し、貸出しを行った。また、中型マイクロバスの使用については、運行を業者に委託した。

ア 管理車両の使用状況（マイクロバス含む）

台数	24台（2輪、小型特殊車両を除く。）
使用回数	6,731回
走行距離	138,574km

（再掲）

- ・ 中型マイクロバス（29人乗り）（運行委託車両）

使用回数	16回
走行距離	932km

- ・ 小型マイクロバス（10人乗り）

使用回数	13回
走行距離	484km

6 賓日館管理運営事業

県指定有形文化財である賓日館は、まちづくりの拠点施設としても活用されている。入館者は平成15年11月3日の開館から平成19年度末までの累計で、122,918人となっている。平成20年2月3日から同年3月9日まで開催された「おひなさまめぐり in 二見」では、メイン会場のひとつとして、期間中に12,000人を超える入館があった。

なお、施設の老朽化による屋根等の大規模改修や、耐震工事などを含めた保存管理計画の策定が急務の課題である。

(1) 運営

指定管理者「NPO法人 二見浦・賓日館の会」による運営

二見館の廃業に伴い、地域で賓日館を守る会が結成され、その会がNPO法人となった（事務局長1名、事務局員2名）。開館と同時に同NPO法人に業務委託を、また、平成18年9月1日からは、指定管理者となって運営を行っている。月1回、運営委員会「賓日館の会」を実施することによって各方面からの意見を反映し、透明性の高い運営を図っている。

(2) 入館者

平成17年度	30,171人
平成18年度	32,235人
平成19年度	28,710人

平成 19 年度月別入館者数

単位：人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
2,343	1,551	883	1,305	1,128	2,156
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1,345	1,832	1,446	1,403	8,834	4,484

(3) 維持管理費（NPO法人への委託料、収入）

平成 17 年度 委託料 6,000,000 円（管理業務委託料）

収 入 7,474,831 円（入館料等）

平成 18 年度 委託料 2,500,000 円（管理業務委託料：H18. 4～H18. 8）

3,189,000 円（指定管理料：H18. 9～H19. 3）

収 入 8,581,992 円（入館料等）

平成 19 年度 委託料 5,700,000 円（指定管理料）

収 入 7,593,726 円（入館料等）

(4) 効果

維持管理を「NPO法人 二見浦・賓日館の会」に委託することにより、雇用が創出された。

施設見学はもとより、施設の特性を活かした各種の催事を実施することにより、文化水準・まちづくり意識の向上を図るとともに、より多くの集客に繋げた。

また、平成 18 年 9 月 1 日より指定管理者制度を導入し、更なる弾力性や柔軟性のある管理運営を図っている。

(5) 維持管理

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地 内	賓日館中継木 電柱改修工事	架線状況改修 ・中継用木柱撤去 1本 ・配線埋設 一式	円 156,450	19. 7.10	19. 7.31
二見町茶屋 地 内	(注1) 賓日館屋根修 繕工事	屋根修繕工事 一式	(注2) 1,472,100	19. 5.23	19. 7.31
二見町茶屋 地 内	賓日館展示蔵 外部修繕工事	外壁修繕工事 ・木製外壁修繕 一式 ・漆喰修繕 一式	1,281,000	20. 1.18	20. 2.19
二見町茶屋 地 内	賓日館煙突等 撤去工事	不要配管等撤去工事 ・煙突撤去 一式 ・配管撤去 一式	467,250	20. 2. 8	20. 2.25

二見町茶屋 地内	賓日館各所修 繕工事	各所修繕工事	円	20. 3. 10	20. 3. 31
		<ul style="list-style-type: none"> ・二階渡り廊下屋根 ・門戸東袖壁 ・一階中会議室縁側床板及び束 ・一階中会議室縁側雨戸用敷居 ・一階東側トイレ ・二階東側トイレ 			
		1,020,978			

(注1) 建築住宅課施行 (注2) 平成18年度から繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完成
二見町茶屋 地内	(注) 賓日館屋根修 繕工事監理業 務委託	監理業務委託	円	19. 5. 23	19. 7. 31
		<ul style="list-style-type: none"> ・工事監理 一式 ・申請書、報告書等作成 一式 			
		205,800			

(注) 平成18年度から繰越

7 観光関係

二見浦地域の観光振興に関する状況

平成19年度は、お木曳き行事（第二年次）、浜参宮や伊勢志摩キャンペーン等の直接的、間接的な効果からか、日帰り客、宿泊客を合わせた数字は、234万人であった。

また、地域住民主体で企画運営されるいくつかの地域イベントも徐々に定着しつつあり、地域を巻き込んだまちづくりの実践に広がりを見せている。

一方で、平成19年1月、二見浦観光協会が(社)伊勢市観光協会へ統合されたが、この一年は特に目立った活動実績がなく、今後、二見地域の観光振興の組織の枠組み・役割分担、組織・団体間等の連携などの再構築が急務となっている。

(1) 観光一般

ア 観光案内所の運営

JR二見浦駅と夫婦岩・二見興玉神社を結ぶ二見浦夫婦岩表参道沿いに位置する二見浦観光案内所（二見生涯学習センター内）では、お客さまのもてなしに力を注いだ情報提供に取り組んでおり、二見浦はもとより伊勢志摩地域の広域的な観光案内、宿泊施設の斡旋、バスやJR等時刻・経路案内などを行っている。ほかにも、電話やファックス、Eメールなどのさまざまな問い合わせ（パンフレットや観光資料、写真・ポジやデータの貸し出し、雑誌等掲載記事内容確認など）等に対応している。土曜、日曜、祝日には、(社)伊勢市観光協会と連携を図り、年間363日（8：30～17：00）の運営を行った。

イ 観光協会との関係

旧二見浦観光協会が(社)伊勢市観光協会と統合したこの一年は、統合調整委員会の中で、組織や業務内容について議論してきた。

特に二見浦地区においては、海岸松林等の清掃、外灯や灯ろう等の維持管理に関すること、行事・イベントや観光パンフレットの発行などについて調整を行い、今後の課題等についても話し合った。

ウ 関係団体等との連携

(社)伊勢市観光協会のほか、NPOなどの外郭団体等と連携をとり、協働しながら観光の振興、まちの活性化に取り組んだ。

主な団体と活動内容は次のとおりである。

(ア) NPO法人 二見浦・賓日館の会

(賓日館管理運営事業の欄参照)

(イ) 二見浦わいわい元気塾(旧表参道再生委員会)

まちなみ環境整備事業で美しくなったまちなみを活かしたソフト事業の研究、企画、実施などを行うため、地域住民を委員とする会議を開催し、事務局として参加した。

(ウ) 二見七夕・星まつり実行委員会への協力

7月7日～8月31日までの期間中、二見浦・夫婦岩表参道のライトアップや、さまざまなイベントが企画された「二見七夕・星まつり」への後援・協力を行った。

(エ) おひなさまめぐり in 二見実行委員会への協力

閑散期でもある2～3月に、まちに賑わいを取り戻したいと企画された、約1ヶ月にわたる長期イベント「おひなさまめぐり in 二見」への後援・協力を行った。

平成19年度は59,700人の入込実績であった。

(オ) 二見浦さくらまつり実行委員会への協力

音無山での桜の花見を取り上げ、音無山の活用を促すためのイベント「二見浦さくらまつり」への協力を行った。

平成19年度は第1回目として植樹式を行い、ソメイヨシノ2本とヤマザクラ2本が植えられた。

(カ) 二見浦浜参宮受入委員会

20年に一度行われる神宮式年遷宮お木曳き行事に際し、二見浦で浜参宮を行う地元神領民及び一日神領民を迎え入れる。

第二年次である平成19年度は、地元奉曳団63団(7,115人)、一日神領民450団(約36,000人)を受け入れた。

(キ) 伊勢地域観光交通対策協議会(旧新春旅客受入対策協議会)

年末年始の初詣客へのもてなし、受入体制(案内、警備、交通規制、照明など)を整備した。

(2) 海水浴場の管理運営

二見浦海水浴場は、明治 15 年に開設された「日本第一号の海水浴場」として知られており、夏のシーズンには、海水浴場施設の開設を行っている。

管理運営については、(社)伊勢市観光協会に委託した。

主な業務委託内容は、①案内、②駐車場管理運営、③海水浴場管理運営、④監視看護、⑤環境美化、などである。

ア 委託期間	平成 19 年 6 月 18 日～平成 19 年 8 月 31 日
イ 委託料	1,320,800 円
ウ 開設期間	平成 19 年 7 月 7 日～平成 19 年 8 月 31 日
エ 海水浴客数	22,300 人
オ 駐車場収入	2,047,900 円
カ 脱衣場収入	75,000 円

(3) 旅客誘致受入宣伝事業

ア 観光情報発信

雑誌掲載、カレンダー（夫婦岩サミット）の配布などを行ったほか、さまざまな媒体を通して、二見地域の情報（行事・イベント、歳時記、宿泊など）を発信した。

また、本庁観光企画課と情報交換・連絡を密にし、新着情報や地域の話題として、広報又はホームページ上で情報発信を行った。

観光パンフレットについては、メディア交流会（東京・大阪）、観光案内所、観光客等の問合せなど、客層や要望に合わせ、さまざまな機会に配布した。

(4) 第 16 回全国夫婦岩サミット開催

全国「夫婦」と名のつく郷土の資源を有する地方公共団体、観光協会等関係団体が一同に会し、各地域の自然や郷土色豊かな夫婦岩等を紹介することにより、郷土資源とのより良い共生の方向を求め、まちおこしを図ることを目的として発足した「全国夫婦岩サミット連絡協議会」に旧二見町として加盟、発足以来、事務局を担っている。

ア 「全国夫婦岩サミット連絡協議会」加盟市町村及び団体（平成 19 年度）

- ①風間浦村（青森県）、②千厩町観光協会（岩手県一関市）、③志賀町（石川県）、
- ④中津川市（岐阜県）、⑤伊勢市（三重県）、⑥伊勢市観光協会（三重県）、
- ⑦香南市（高知県）、⑧北条かざはや振興会（愛媛県松山市）、⑨志摩町（福岡県）、
- ⑩黒木町（福岡県）、⑪武雄市（佐賀県） 計 11 団体

イ 総会及びサミットの開催

- (ア) 開催名 第 16 回全国夫婦岩サミット
- (イ) 開催日 平成 19 年 10 月 17 日（水）～10 月 18 日（木）
- (ウ) 開催地 福岡県糸島郡志摩町
- (エ) 参加 9 市町村・団体（56 名）

8 防犯灯設置への補助金交付

伊勢市防犯灯事業補助金交付要綱（平成 17 年 11 月 1 日施行）に基づき、町内各自治会に設置及び修繕した防犯灯並びにその電気料について、次のとおり補助金を交付した。

補助金交付対象決定数及び補助金交付金額 10 自治会（町内全自治会）

新 設	8 基	191,450 円
修 繕	286 基	473,780 円
電気料	10 地区	813,800 円

9 選挙執行状況

(1) 参議院議員通常選挙

- ア 任 期 満 了 日 平成 19 年 7 月 28 日
- イ 選挙期日公示日 平成 19 年 7 月 12 日（木）
- ウ 選挙期日（投票日） 平成 19 年 7 月 29 日（日）
- エ 期日前投票状況（二見総合支所分）

区 分		男	女	計
期日前投票者数	選 挙 区	人 258	人 297	人 555
	比例代表	258	297	555

(2) 三重県知事及び県議会議員選挙

- ア 任 期 満 了 日
 - (ア) 三 重 県 知 事 選 挙 平成 19 年 4 月 20 日
 - (イ) 三 重 県 議 会 議 員 選 挙 平成 19 年 4 月 29 日
- イ 告 示 日
 - (ア) 三 重 県 知 事 選 挙 平成 19 年 3 月 22 日（木）
 - (イ) 三 重 県 議 会 議 員 選 挙 平成 19 年 3 月 30 日（金）
- ウ 選挙期日（投票日） 平成 19 年 4 月 8 日（日）
- エ 期日前投票状況（二見総合支所分）

(ア) 三重県知事選挙

区 分	男	女	計
期日前投票者数	人 237	人 243	人 480

(イ) 三重県議会議員選挙

区 分	男	女	計
期日前投票者数	人 237	人 243	人 480

10 地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律及びこれに基づく合併前の旧4市町村の協議に基づき設置した地域審議会のうち、二見地区地域審議会を次のとおり開催した。

(1) 委員

区 分	人 数
公共的団体等の代表者	名 12
学識経験者	2
一般公募	1
計	15

(2) 開催状況

開催日	議 事	備 考
19. 5. 22	「総合計画基本構想」に関する諮問について	
19. 6. 12	「総合計画基本構想」の答申	
19. 10. 23	市長の諮問「新市の一体感の醸成」についての勉強会 観光について：講師 観光交通部長 松井 章	
19. 11. 6	「新市の一体感の醸成」に関する審議 ① 伊勢市の観光振興について ② 二見総合支所庁舎の有効利用について	
19. 12. 11	「新市の一体感の醸成」に関する審議	
20. 4. 14	「新市の一体感の醸成」の答申案の作成	
20. 4. 21	「新市の一体感の醸成」の答申	

○ 生活環境課

1 戸籍住民関係

(1) 住民関係

ア 住民基本台帳世帯数及び人口

区 分	平成 19 年 3 月末		平成 20 年 3 月末	
	伊勢市全体	二見町	伊勢市全体	二見町
世 帯 数	52, 523 世帯	3, 192 世帯	51, 837 世帯	3, 228 世帯

人 口	男	64,500 人	4,483 人	63,715 人	4,504 人
	女	71,444 人	4,867 人	70,405 人	4,883 人
	計	135,944 人	9,350 人	134,120 人	9,387 人

イ 住民票の写し交付等の状況

区 分		有 料 件	無 料 件	計 件	収 入 金 額 円
住民票の写し		3,355 (346)	7 (0)	3,362 (346)	671,000
広域交付住民票の写し		2	0	2	400
戸籍の附票の写し		84	11	95	16,800
住民票記載事項証明		75	0	75	15,000
住民基本台帳カード		67	0	67	33,500
その他証明・閲覧外		4	0	4	800
印鑑登録証明		3,276 (802)	19 (0)	3,295 (802)	655,200
諸 証 明	身分証明	28	2	30	5,600
	その他	0	0	0	0
外国人登録関係証明		3	0	3	600
計		6,894 (1,148)	39 (0)	6,933 (1,148)	1,398,900

(注) () は自動交付機による内数

ウ 住居表示変更証明件数 16 件

エ 電子証明書の状況

有 料	無 料	計	金 額
17 件	0 件	17 件	8,500 円

(2) 戸籍関係

ア 届出事件の状況

事件の種類	届 出 件	他市町村 からの送付 件	計 件
出 生	57	0	57
婚 姻	29	0	29
離 婚	7	0	7
死 亡 ・ 失 踪	45	0	45
養 子 縁 組	5	0	5
養 子 離 縁	1	0	1

国籍の得喪・留保	0	0	0
本籍表示の変更	21	0	21
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	7	0	7
上記以外で身分に変更が生じるもの	0	0	0
訂正・追完	1	0	1
不受理申出	0	0	0
その他	0	0	0
計	173	0	173

イ 戸籍事務処理状況

区 分	件 数 件
新 戸 籍 編 製	39
戸 籍 全 部 消 除	11
違 反 通 知	0
そ の 他	0
計	50

ウ 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分		件 数			収 入 金 額 円
		有 料 件	無 料 件	計 件	
全部事項 証明 (謄本)	戸籍	800	10	810	360,000
	除籍	482	15	497	361,500
	計	1,282	25	1,307	721,500
個人事項 証明 (抄本)	戸籍	423	2	425	190,350
	除籍	1	0	1	750
	計	424	2	426	191,100
一部事項 証明 (抄本)	戸籍	0	4	4	0
	除籍	0	0	0	0
	計	0	4	4	0
記 載 事 項 証 明	戸籍	0	0	0	0
	除籍	0	0	0	0
	計	0	0	0	0

受 理 証 明	9	0	9	3,150
届書記載事項証明	19	1	20	6,650
閱 覧	0	0	0	0
計	1,734	32	1,766	922,400

エ 死産届出受理状況

男	女	不 詳	計
0 件	0 件	0 件	0 件

オ 埋葬・火葬許可状況

区 分	大 人 件	小 人 件	胎 児 件	計 件
埋 葬	0	0	0	0
火 葬	44	1	0	45
計	44	1	0	45

カ 外国人登録事務状況 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

原票の開示	0 件
-------	-----

キ 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数 件
犯罪関係通知	0
民事関係通知	0
身元事項照会	1
計	1

ク 郵送等による処理件数

区 分	発 送 件	収 受 件
外国人登録事務文書発収簿	0	0
身上照会発収簿	0	0
戸籍発収簿	0	0
印鑑登録照会書発送簿	0	0
郵送請求文書	118	118
計	118	118

2 税務関係

(1) 税務証明等の発行件数

区 分	件 数 件	収入金額 円
所得証明	758	151,600
納税証明	50	10,000
課税証明	61	12,200
評価証明	317	63,400
公課証明	19	3,800
租税証明	1	1,300
事業証明	10	2,000
車検用納税証明	204	—
不動産登記申請用評価通知書	4	—
標識交付証明	5	—
廃車証明	1	—
自動車臨時運行許可	29	21,750
標識弁償	3	900
閲覧	9	1,800
計	1,471	268,750

(2) 市税・国民健康保健料等収納状況

区 分	収納件数 件	収納金額 円
市・県民税	886	18,873,400
固定資産・都市計画税	976	11,165,100
軽自動車税	276	1,301,700
住宅使用料	29	83,500
その他一般会計分	157	725,583
国民健康保険料	1,088	15,782,765
介護保険料	215	1,034,360
三重県交通災害共済受付	435	560,450
その他	2	31,187
計	4,064	49,558,045

(3) 軽自動車税申告書受付件数

区 分	新規申告書	廃車申告書	計
届出件数	84 件	104 件	188 件

3 一般廃棄物収集関係

一般廃棄物（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ）の収集及び分別作業を車両 8 台、収集人員 10 名体制で行っている。

一般収集について、可燃ごみは、2 t 及び 3 t プレス車 3 台の 3 コースで週 2 回、不燃ごみ（金属・その他）は、2 t パッカー車及び 2 t トラックで毎週水曜日に、町内 68 箇所の集積所収集を行った。

粗大ごみは、毎日午後から美化センターへの持ち込み分を無料で受け付けている。また、申込みにより、重量による有料制度で戸別収集も行った。

資源物は、ごみの減量・資源化に向け、町内各地区に合計 34 箇所の資源ステーションを設け、ペットボトル・アルミ缶・資源ビン・新聞・雑誌チラシ類・段ボール・紙パック・布類・プラスチック製容器包装・容器包装かみ・ガラス類・陶磁器類・乾電池について収集を行った。

その他、廃食油・蛍光管の回収は、(社)伊勢市シルバー人材センター及び専門業者に委託し、二見地区 11 箇所の公共施設を特設回収場所とし毎月第 1 土、日曜日に行っている。

小動物の死体処理は、ペットについては飼い主の申込みにより有料で受け付け、飼い主不明なものについては、それぞれの施設管理者が無料で回収を行っている。

また、「国民の祝日に関する法律」によるハッピーマンデー（月曜日の祝日固定、年 4 回）には、2 地域（月・木コースと火・金コース）間の収集回数の不公平差をなくすため、平成 15 年度から可燃ごみの特別収集を、また、年末年始にも可燃ごみの特別収集を行っている。

(1) 収集体制

ア 収集車両

可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源物、乾電池を延べ 8 台の車両で収集した。

収 集 車 両					
2 t プレス車	3 t プレス車	2 t ダンプ 及びトラック	軽四ダンプ	小型特殊 4 輪車	計
1 台	2 台	3 台	1 台	1 台	8 台

イ 収集人員

可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、乾電池を収集及び分別回収した。

技能労務職員	嘱託職員	シルバー人材	計
5 人	2 人	3 人	10 人

(2) ごみ排出量及び処理経費の推移

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び過去3年間の処理経費の推移は次のとおりである。

ア 過去5年間のごみ排出量の推移

年度 区分	15年度 t	16年度 t	対前年 度増減 %	17年度 t	対前年 度増減 %	18年度 t	対前年 度増減 %	19年度 t	対前年 度増減 %
可燃ごみ	2,569.88	2,574.09	0.2	2,511.83	△2.4	2,638.08	5.0	2,564.81	△2.8
不燃ごみ	151.18	135.72	△10.2	138.82	2.3	135.34	△2.5	77.22	△42.9
粗大ごみ	160.09	168.77	5.4	129.10	△23.5	147.72	14.4	109.82	△25.7
小計	2,881.15	2,878.58	△0.1	2,779.75	△3.4	2,921.14	5.1	2,751.85	△5.8
資源物	559.06	518.32	△7.3	671.49	29.6	824.88	22.8	824.15	△0.1
乾電池	3.84	1.52	△60.4	3.33	119.1	2.83	△15.0	2.41	△14.9
蛍光管	—	1.60	—	1.30	△18.8	1.53	17.7	1.73	△13.1
廃食油	—	4.70	—	4.15	△11.7	3.96	△4.6	4.46	12.6
合計	3,444.05	3,404.72	△1.1	3,460.02	1.6	3,754.34	8.5	3,584.60	△4.5

イ 平均排出量の推移

(ア) ごみの各平均排出量

年 度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
年度当初人口 (人)	9,273	9,289	9,307	9,359	9,350
年度当初世帯数 (世帯)	3,018	3,059	3,079	3,127	3,192
総ごみ排出量 (t)	3,444.05	3,404.72	3,460.02	3,754.34	3,584.60
1日平均排出量 (t/日)	9.43	9.32	9.48	10.29	9.82
1日1人平均排出量 (g/人・日)	1,017.55	1,004.19	1,018.53	1,099.03	1,050.36
1日1世帯平均排出量 (g/世帯・日)	3,126.49	3,049.36	3,078.76	3,289.37	3,076.70

(3) ごみ資源化の推進

町内34箇所に設置した資源ステーションで資源物の分別収集を行い、ごみの資源化を図った。直営で収集したアルミ缶・紙類等の資源ごみを分別し、美化センター敷地内のストックヤードに保管している。資源ごみは、後日委託業者によりストックヤードから搬出し、専門業者に売払っている。委託業者から市へ納付された金額は、19年度1,890,119円であった。

回収量の推移は、次のとおりである。

ア 資源ビン

年 度	回 収 量			
	無 色 kg	茶 色 kg	その他の色 kg	計 kg
17年度	28,710	22,930	9,990	61,630
18年度	31,870	27,710	10,710	70,290
19年度	35,540	30,650	11,650	77,840

(注) 資源ステーションにおいて分けられたビンを美化センターで更に分別する。

イ 紙類・布類 (売却金額は消費税別途)

年度	回収量及び 単 価	新 聞	雑誌類	段ホ ^ル	紙パ ^{ック}	布 類	計 下段売却 金額 (円)
17 年度	回収量 (kg)	128,900	138,600	70,080	5,230	6,780	349,590
	売却単価 (円/kg)	2.0	1.5	2.0	4.0	1.0	633,560
18 年度	回収量 (kg)	78,670	190,510	67,310	5,100	6,030	347,620
	売却単価 (円/kg)	1.5	0.5	1.0	4.0	0	300,970
19 年度	回収量 (kg)	76,490	209,380	71,790	5,270	4,310	367,240
	売却単価 (円/kg)	5.0~7.1	1.0~2.0	3.5~5.1	4.5	0	1,180,310

ウ ペットボトル

年 度	回 収 量 kg	委 託 先
17年度	27,320	(有) ジェイピー化工
18年度	29,219	(有) ジェイピー化工
19年度	18,696	(有) ジェイピー化工

エ プラスチック製容器包装

年 度	回 収 量 kg	委 託 先
17年度	35,340	三重中央開発 (株)
18年度	30,840	(指定法人ルート) 三重中央開発 (株)
19年度	43,330	(指定法人ルート) J F E 環境(株)・(有)山川商事

オ 飲料用アルミ缶 (売却金額は消費税別途)

年 度	回収量及び単価	アルミ缶	売却金額 (円)	委 託 先
17年度前期 4~9月分	回収量 (kg)	5,920	前期 325,600	二見カイトイ屋
	売却単価 (円/kg)	55		
17年度後期 10~3月分	回収量 (kg)	6,100	後期 305,000	二見カイトイ屋
	売却単価 (円/kg)	50		

18年度	回収量 (kg)	10,490	524,500	(株)幸伸
	売却単価 (円/kg)	50		
19年度	回収量 (kg)	10,330	619,800	(株)幸伸
	売却単価 (円/kg)	60		

(4) 資源化率の推移

区分	17年度 %	18年度 %	19年度 %
資源化率	19.70	22.19	23.23

(5) 資源回収ステーション設置事業

平成11年6月からペットボトル、アルミ缶、紙類、古布等の資源回収をした。平成12年4月からは容器包装リサイクル法施行に伴い、プラスチック製容器包装等の分別回収を始め、平成19年4月からはガラス類・陶磁器類の分別回収を始めた。

ごみの減量・資源化をさらに推進するため、町内34箇所で資源回収ステーションを常時開設している。

(6) 不法投棄物への対応

主に公共敷地における不法投棄物の監視パトロール、撤去業務、マップの作成等の業務を(社)伊勢市シルバー人材センターへ委託し、不法投棄の監視及び回収を行った。

一方、各ボランティアによる地元の清掃活動も実施されている。なかでも、例年5月下旬の日曜日には「クリーンアップ大作戦」が実施され、各自治区内の清掃にボランティアグループや自治会組織を中心に大勢の市民が参加し、清掃活動を行っている。

・主な不法投棄物の処分量

区分 年度	テレビ 台	冷蔵庫 台	洗濯機 台	エアコン 台	タイヤ 本	消火器 本
17年度	20	4	1	4	22	—
18年度	15	3	1	4	—	—
19年度	7	1	4	2	27	26

(7) じん芥処理手数料(粗大ごみ)

区分	重量 (kg)	件数 (件)	金額 (円)
17年度	15,174.4	89	156,600
18年度	25,470.1	167	264,000
19年度	13,919.9	106	143,600

戸別収集申込家庭の粗大ごみの有料分として徴収した。

(8) 廃棄物投棄場使用料

瓦、コンクリートがら、土などの一般廃棄物

年 度	区 分	搬入軽自数（台）	搬入量（kg）	金 額（円）
18年度	自己搬入	59	8,850	35,400
19年度	自己搬入	15	2,250	9,000

※ 1台平均 150kg

(9) 再生資源回収事業

平成10年度から保育園・小学校等の保護者会及び子供会等の集団資源回収に対して再生資源回収事業奨励金が交付されている。

平成19年度の回収量は、紙類・布類・金属類 225,625 kg、びん 581 本で、奨励金 1,355,480 円、11 団体であった。

○ 福祉健康課

1 老人福祉関係

(1) 二見老人福祉センター管理事業

地域の老人その他市民に対し、各種の相談、健康の増進、教養の向上、レクリエーション等のための便宜を総合的に供与し、明るく生きがいのある生活の増進を図った。

なお、施設の管理は、(社)伊勢市シルバー人材センターに委託し、行なった。

ア 施設の内容

集会室・教養娯楽室・調理実習室（栄養指導室）・機能回復訓練室（研修室Ⅰ）・運動指導室（研修室Ⅱ）・生活相談室

※ 機能回復訓練室及び運動指導室は、年間で貸し出している。

イ 事業費 8,133,174 円

ウ 利用及び使用状況

室 名	利 用 件 数	利用延べ人数
集 会 室	264 件	8,609 人
教養娯楽室	85	1,708
調理実習室	33	361
生活相談室	1	1
ヘルストロン	—	1,675
計	383	12,354

エ 使用料収入

センター等使用料 119,450 円

オ 事務室目的外使用

目的外使用許可先 (社) 伊勢市シルバー人材センター

使用期間 平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

使用料 303,160 円 (※光熱水費別途負担)

2 児童福祉関係

伊勢市二見放課後児童クラブ

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年（1年生～3年生）の児童に対して、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図った。

定員 100 人

対象者 小学 1 年生から小学校 3 年生まで

利用実績 12,461 人 (延べ利用人数)

放課後児童クラブ利用状況

学年 月	登録数				利用人数(延べ数)			
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
4月	人 42	人 32	人 18	人 92	人 552	人 369	人 205	人 1,126
5月	44	32	18	94	599	326	174	1,099
6月	45	33	18	96	653	329	171	1,153
7月	47	34	19	100	625	338	221	1,184
8月	47	33	19	99	602	335	234	1,171
9月	47	32	19	98	563	280	174	1,017
10月	45	32	16	93	604	351	177	1,132
11月	44	32	16	92	556	268	170	994
12月	44	30	17	91	507	299	170	976
1月	44	28	16	88	446	258	132	836
2月	43	26	15	84	512	251	112	875
3月	44	25	14	83	514	275	109	898
合計	—	—	—	—	6,733	3,679	2,049	12,461

3 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋内 地	(注) 二見老人福祉センター 改修工事	機械室、男子浴室、 便所等改修工事 一式	円 2,458,050	20. 1. 29	20. 3. 14

(注) 建築住宅課施行